

i) オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエル

(a) G 地区

G 地区における山地性カエル類 4 種(オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエル)の確認状況を表 6.1.5-23 に、確認位置を図 6.1.5-48～図 6.1.5-51 に示した。

オキナワイシカワガエルは、春季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。春季、冬季にそれぞれ□個体幼体が確認されており、冬季の鳴き声活動も活発であったことから、着陸帯周辺で繁殖しているものと考えられた。

ハナサキガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体が確認された。冬季調査では、□個体のほか□箇所□卵塊が確認され、着陸帯周辺での繁殖が確認された。

ホルストガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。各所において卵塊や幼生、幼体が確認されており、広域で繁殖しているものと考えられた。ホルストガエルの繁殖期は7月～9月であり、河川の砂泥地に直径 30cm～40cm のくぼみを掘ってその中に産卵し、幼生の大半は秋に変態するが、一部は翌年の5月～6月頃に変態する<sup>注1)</sup>。

ナミエガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。着陸帯□ヶ所で卵塊が確認されているほか、北側の河川でも幼生や幼体が確認されており、広域で繁殖しているものと考えられた。ナミエガエルは6月～8月にかけて繁殖し、河川の浅い砂泥地に産卵し、幼生は8月～9月頃に変態することが知られている<sup>注2)</sup>。

---

【参考文献】

- 注1) 沖縄県(2017). 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータおきなわ)第3版-動物編-  
注2) 前田憲男・松井正文(1993). 日本カエル図鑑(第3版); pp. 120-123.

表 6.1.5-23 オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエルの確認状況一覧(G地区)

種名	区分	春季	夏季	秋季	冬季
オキナワイシカワガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ハナサキガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ホルストガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ナミエガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				

注 1) 「繁殖を確認」とは、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm前後の小型の幼体の確認と定義した。

注 2) 「繁殖の可能性がある」は、繁殖確認には至らないが、2cm前後及び比較的小型で移動性が高くないと考えられる幼体を確認した場合と定義した。

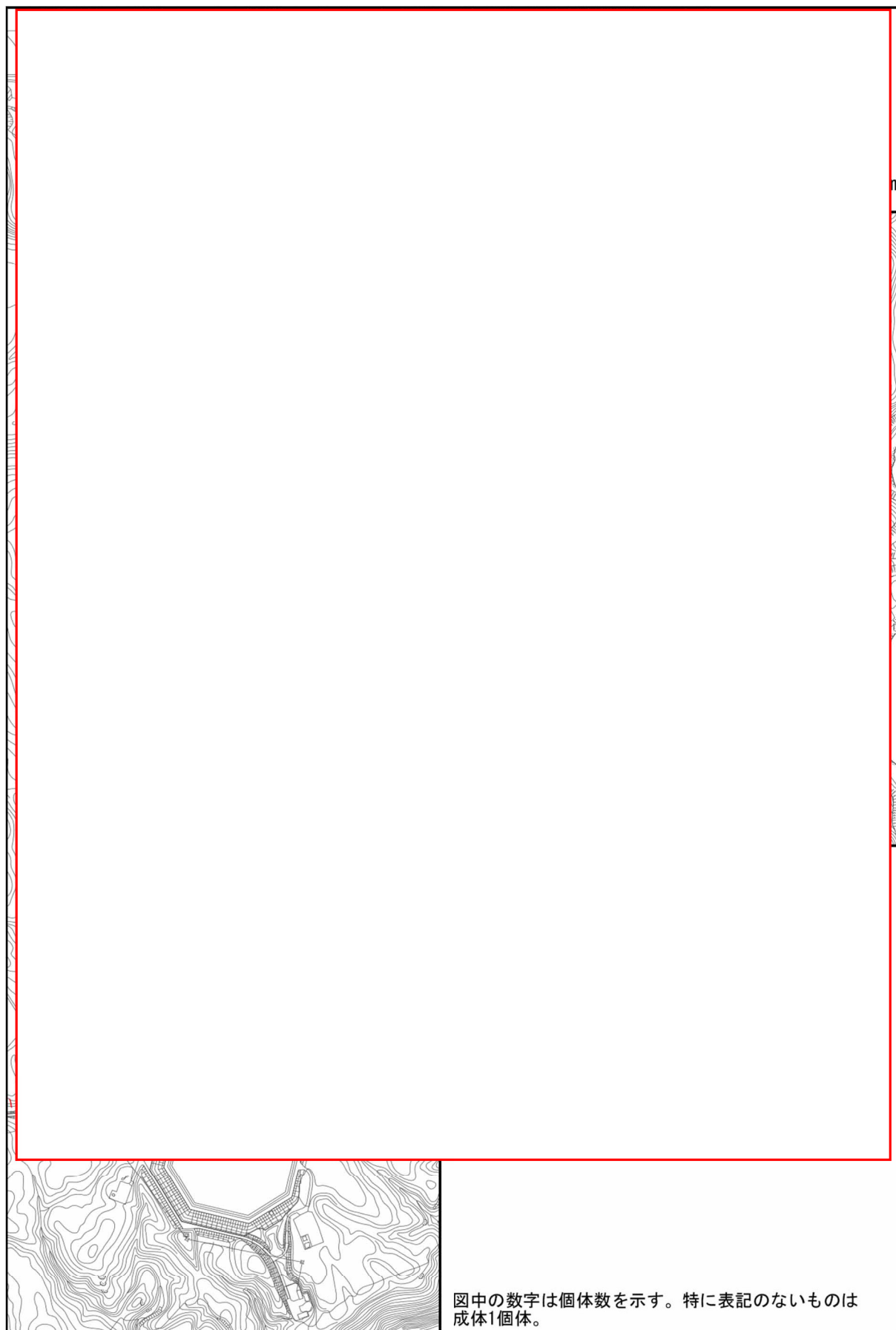


図 6.1.5-48 オキナワイシカワガエルの確認位置 (G 地区)

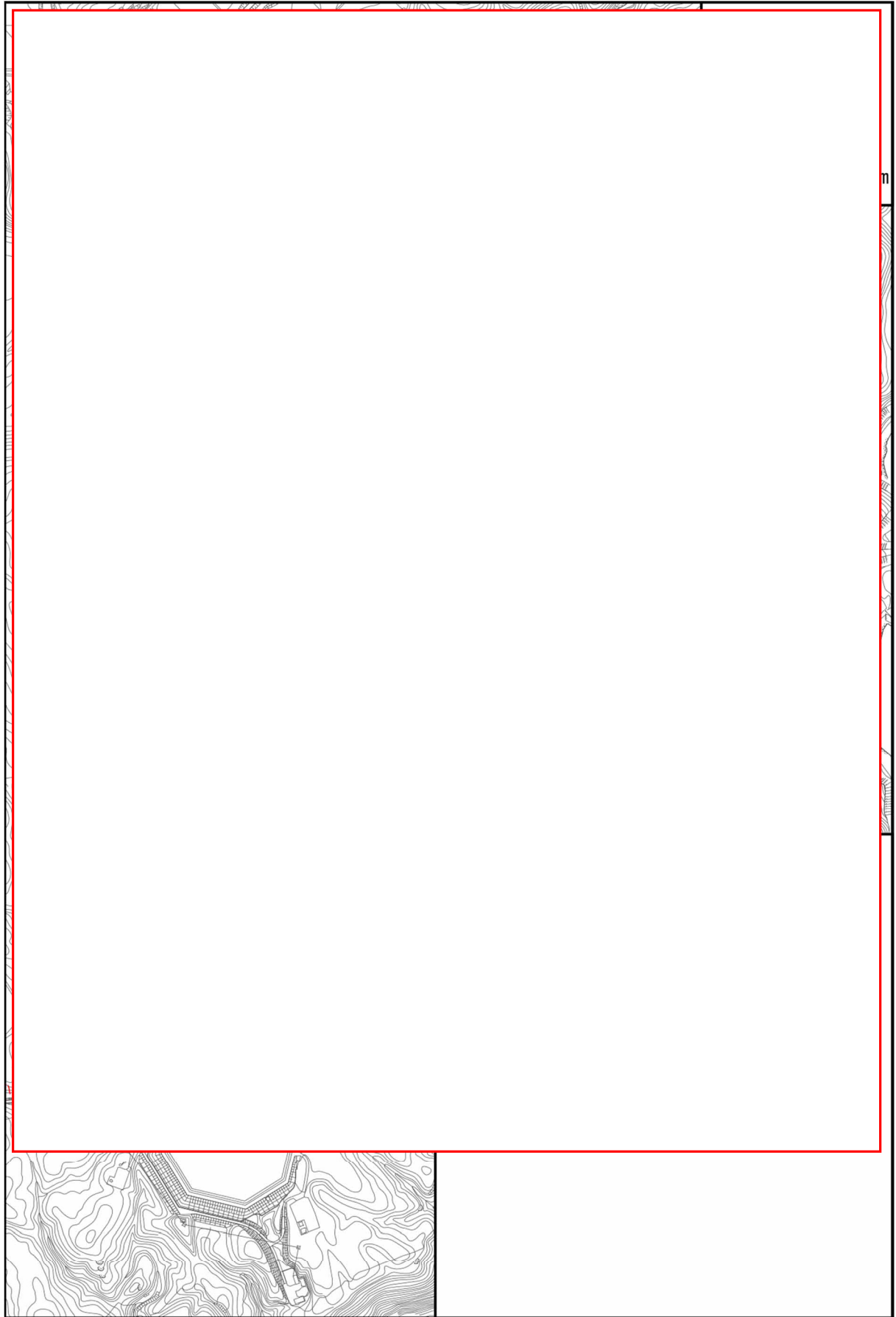


図 6.1.5-49 ハナサキガエルの確認位置(G地区)



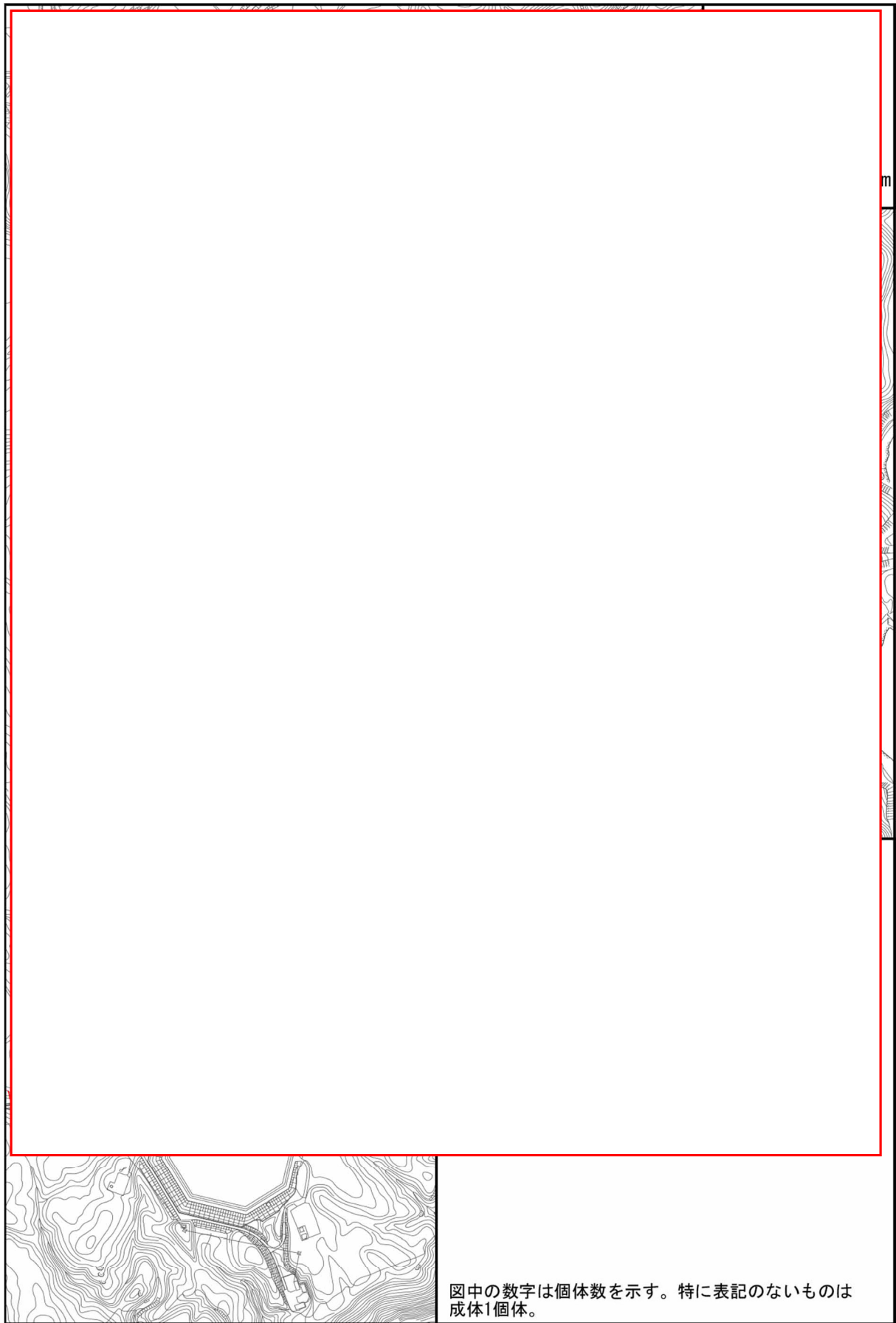


図 6.1.5-50 ホルストガエルの確認位置(G地区)

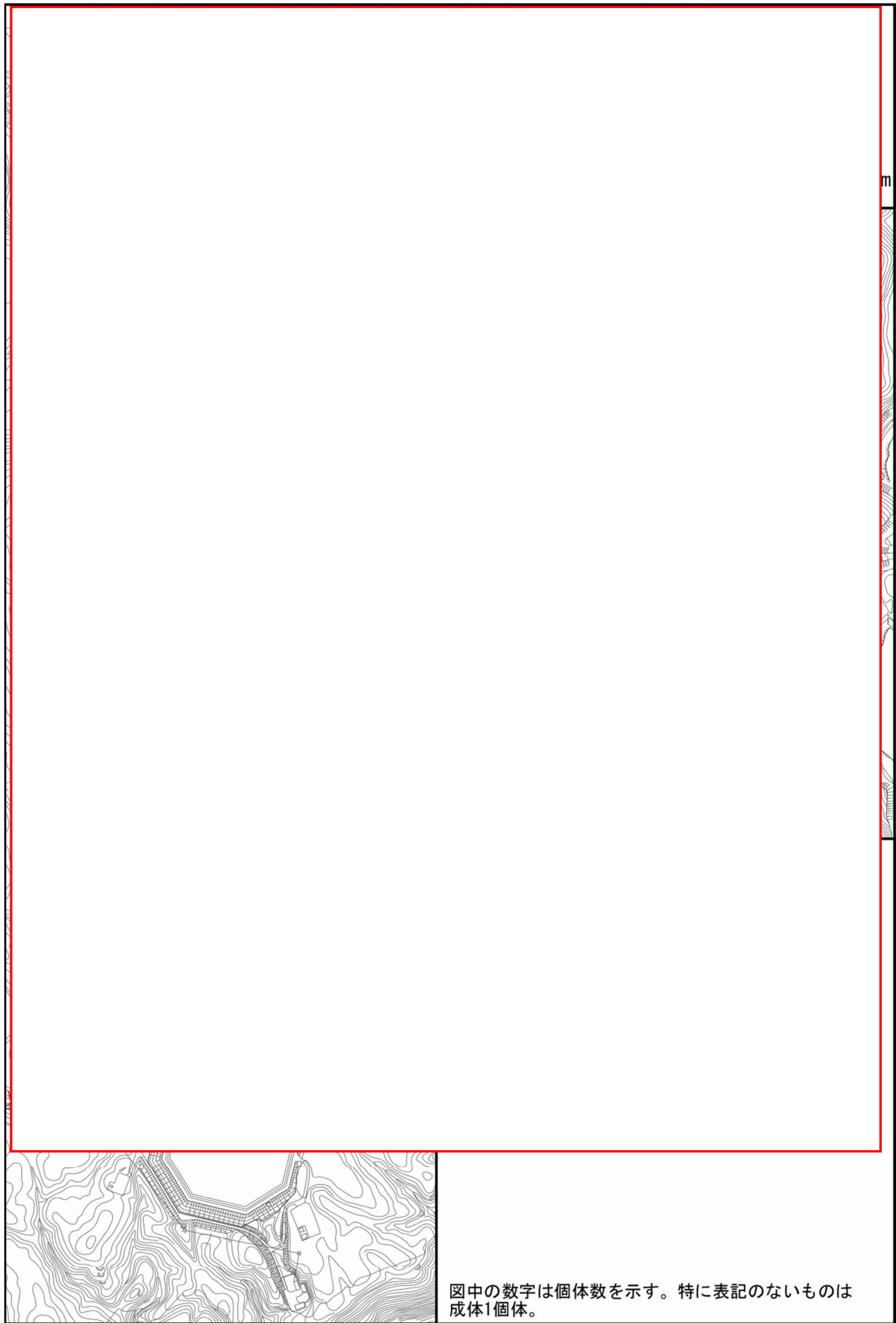


図 6.1.5-51 ナミエガエルの確認位置 (G 地区)

## (b) H 地区

H 地区における山地性カエル類 4 種(オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエル)の確認状況を表 6.1.5-24 に、確認位置を図 6.1.5-52～図 6.1.5-55 に示した。

オキナワイシカワガエルは、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。冬季調査において着陸帯南側の河川で卵塊が確認されたほか、北東側の河川で幼生も確認されており、複数ヶ所で繁殖していることが確認された。

ハナサキガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体が確認された。冬季調査では、□個体のほか着陸帯の□箇所で□卵塊が確認され、幼体も広範囲で確認されていることから、着陸帯周辺の広域で繁殖しているものと考えられた。

ホルストガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。春季から秋季にかけて計□卵塊が確認され、各所において幼生、幼体が確認されており、広域で繁殖しているものと考えられた。

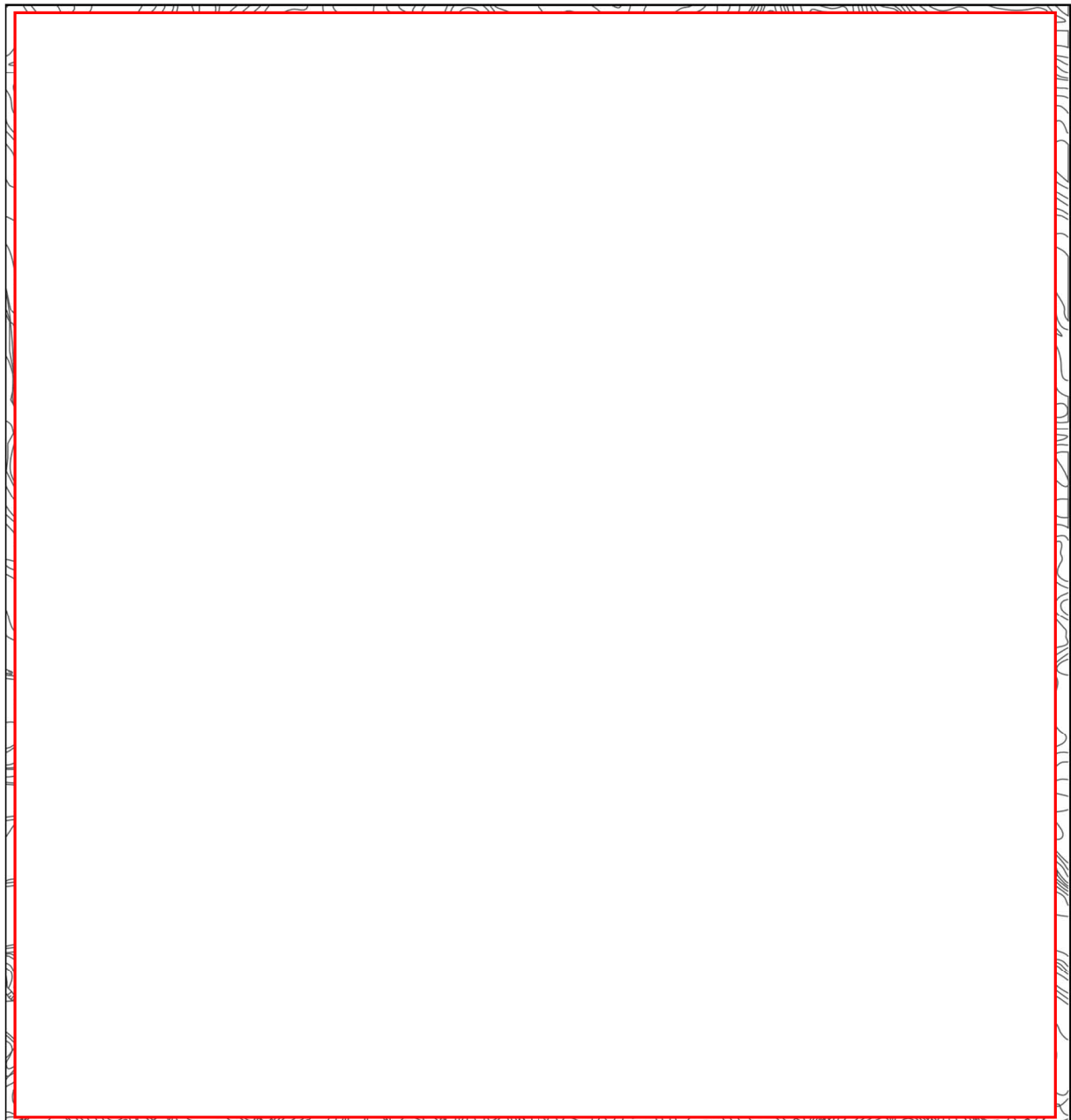
ナミエガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。春季調査では、着陸帯の□ヶ所で卵塊が確認されており、周辺の河川の広範囲で幼生や幼体が確認されていることから、広域で繁殖しているものと考えられた。

表 6.1.5-24 オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエルの確認状況一覧(H地区)

種名	区分	春季	夏季	秋季	冬季
オキナワイシカワガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ハナサキガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ホルストガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ナミエガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				

注 1) 「繁殖を確認」とは、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。

注 2) 「繁殖の可能性がある」は、繁殖確認には至らないが、2cm 前後及び比較的小型で移動性が高くないと考えられる幼体を確認した場合と定義した。



凡例

⊖ : 調査範囲      ⊗ : 事業実施区域      — : 沢

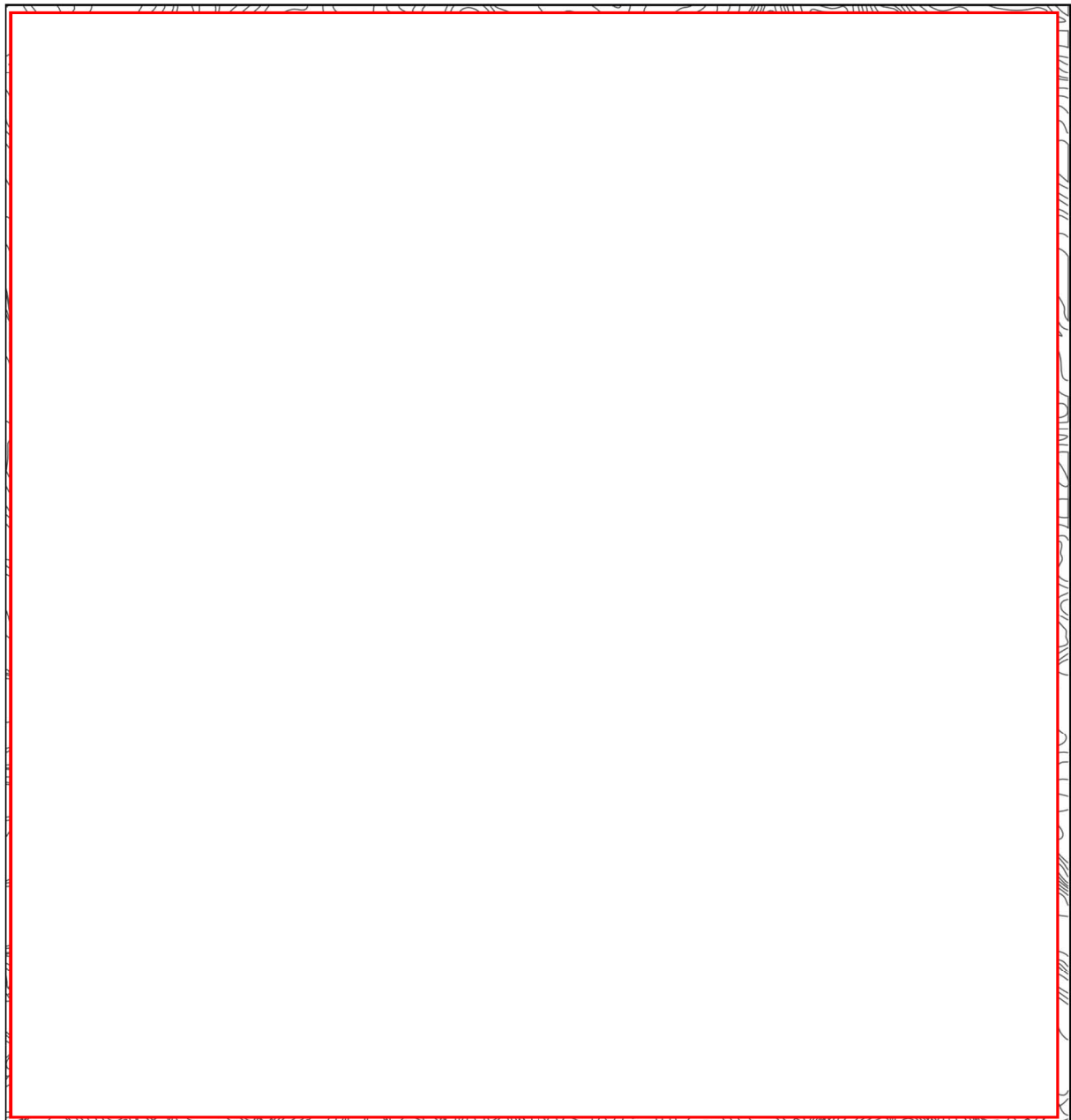
- : 春季
- : 夏季
- : 秋季
- : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-52 オキナワイシカワガエルの確認位置 (H 地区)



凡例

⊖ : 調査範囲      ⊗ : 事業実施区域      — : 沢

- : 春季
- : 夏季
- : 秋季
- : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-53 ハナサキガエルの確認位置(H地区)

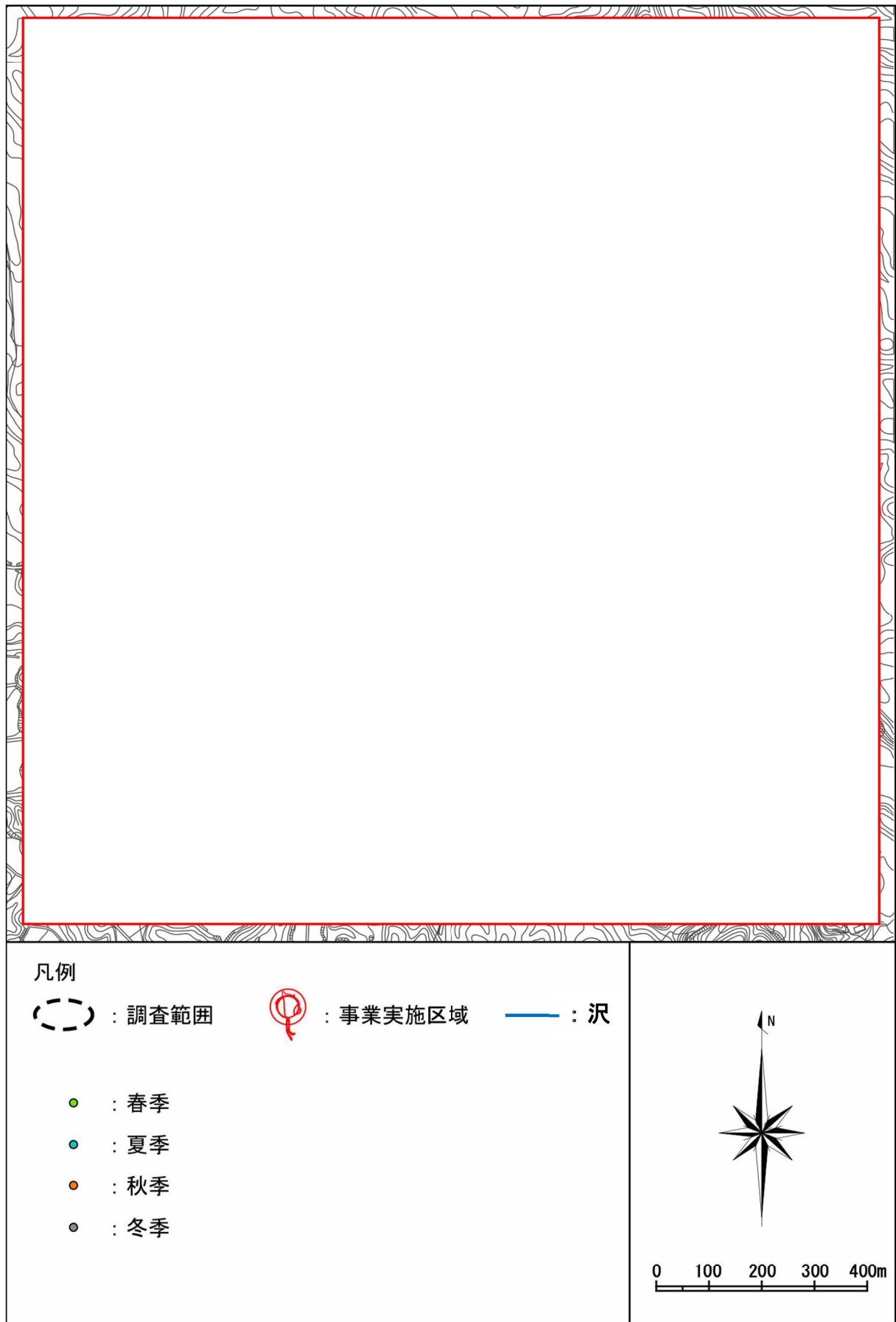


図 6.1.5-54 ホルストガエルの確認位置(H地区)



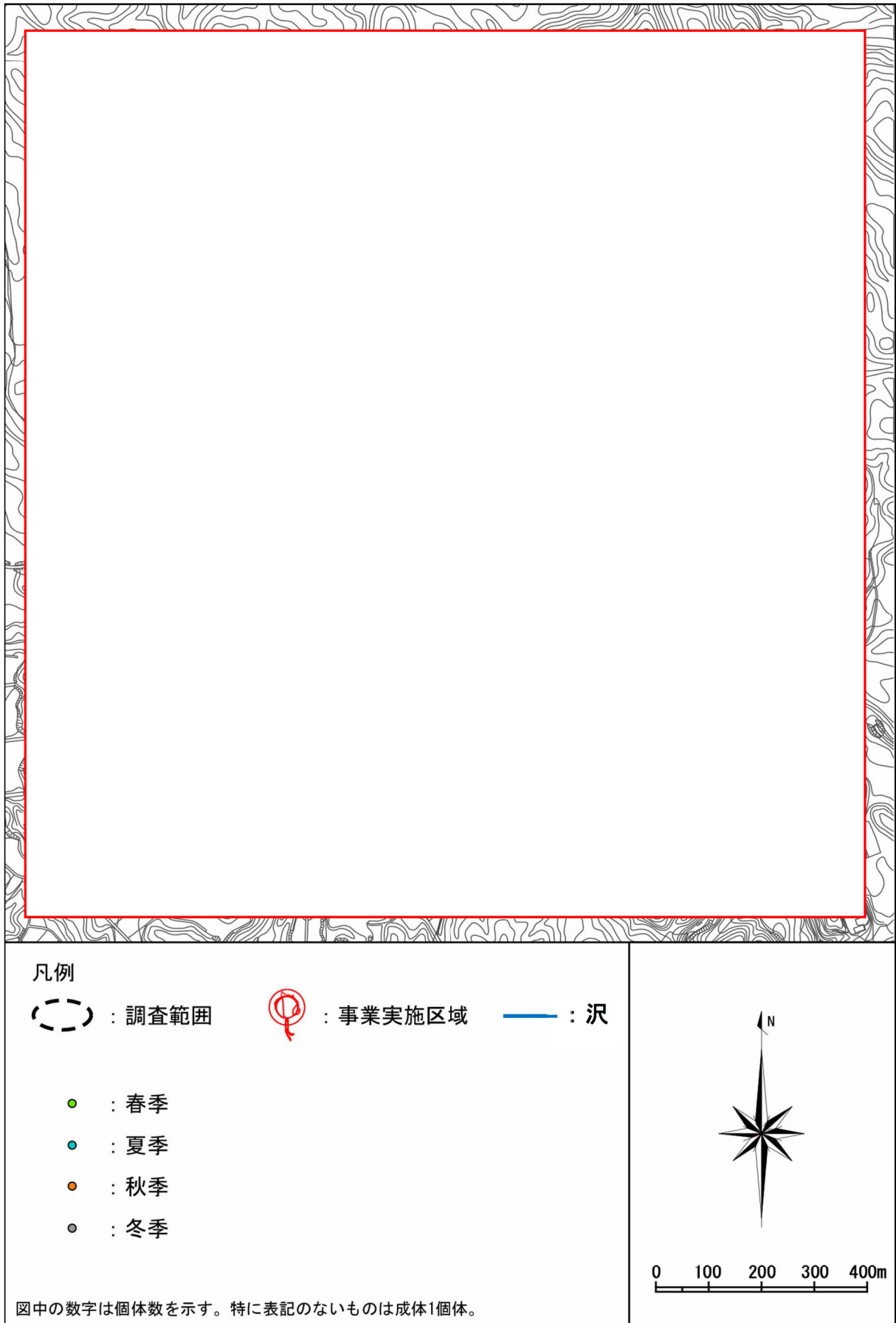


図 6.1.5-55 ナミエガエルの確認位置(H地区)

(c) N-1 地区

N-1 地区における山地性カエル類 4 種(オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエル)の確認状況を表 6.1.5-25 に、確認位置を図 6.1.5-56～図 6.1.5-59 に示した。

オキナワイシカワガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。春季調査、冬季調査において着陸帯□ヶ所で幼生が確認されており、繁殖していることが確認された。

ハナサキガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体が確認された。冬季調査では、□個体のほか着陸帯の□箇所で□卵塊が確認され、幼体も広範囲で確認されていることから、着陸帯周辺の広域で繁殖しているものと考えられた。

ホルストガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。春季から夏季にかけて計□卵塊が確認され、各所において幼生、幼体が確認されており、広域で繁殖しているものと考えられた。

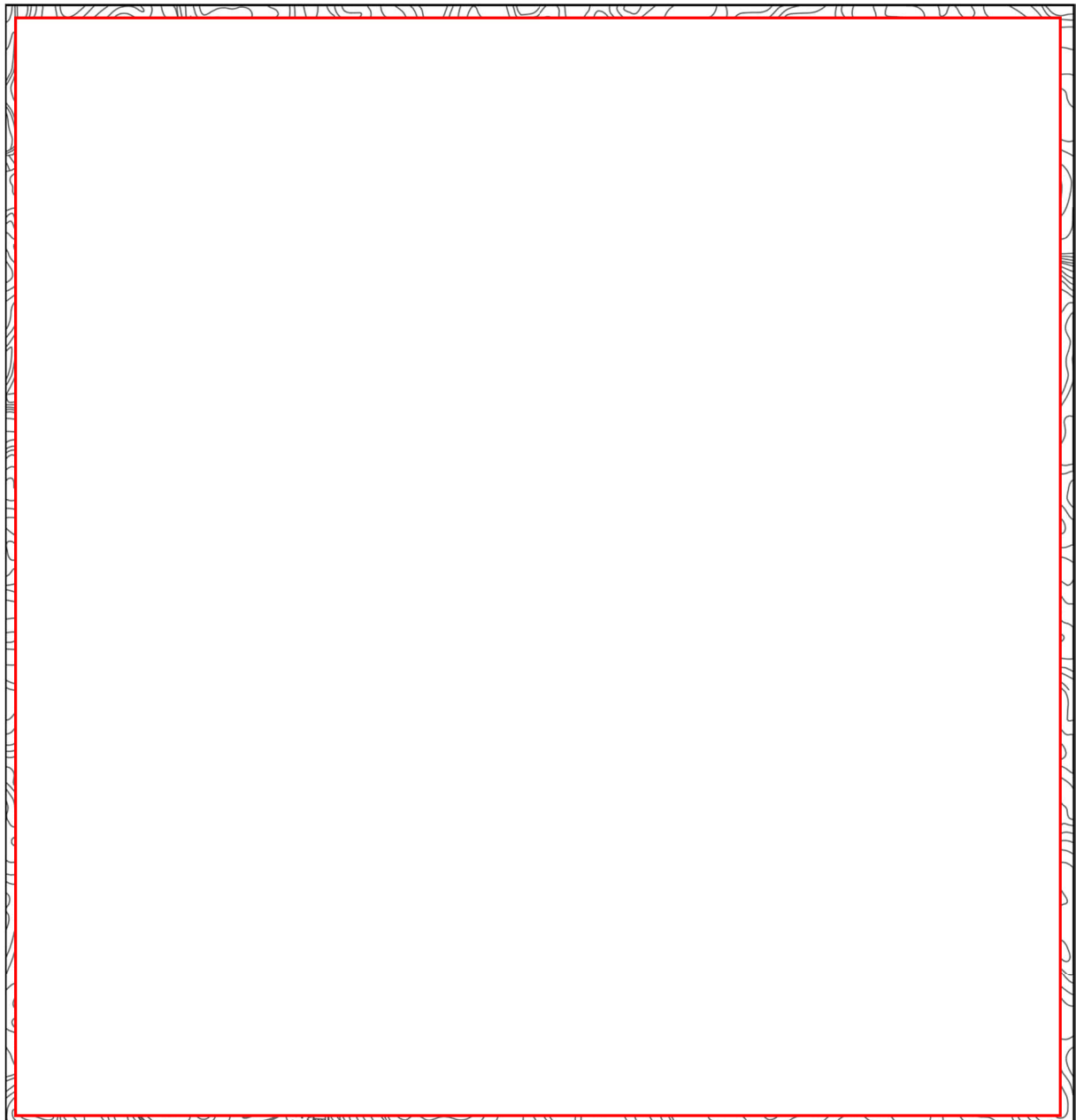
ナミエガエルは、春季調査で□個体、夏季調査で□個体、秋季調査で□個体、冬季調査で□個体が確認された。春季調査では、着陸帯□で卵塊が確認され、周辺の河川の広範囲で幼生や幼体が確認されていることから、広域で繁殖しているものと考えられた。

表 6.1.5-25 オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエルの確認状況一覧(N-1 地区)



種名	区分	春季	夏季	秋季	冬季
オキナワイシカワガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ハナサキガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ホルストガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ナミエガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				

注 1) 「繁殖を確認」とは、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。

注 2) 「繁殖の可能性はある」は、繁殖確認には至らないが、2cm 前後及び比較的小型で移動性が高くないと考えられる幼体を確認した場合と定義した。



凡例

 : 事業実施範囲   
  : 調査範囲   
  : 沢

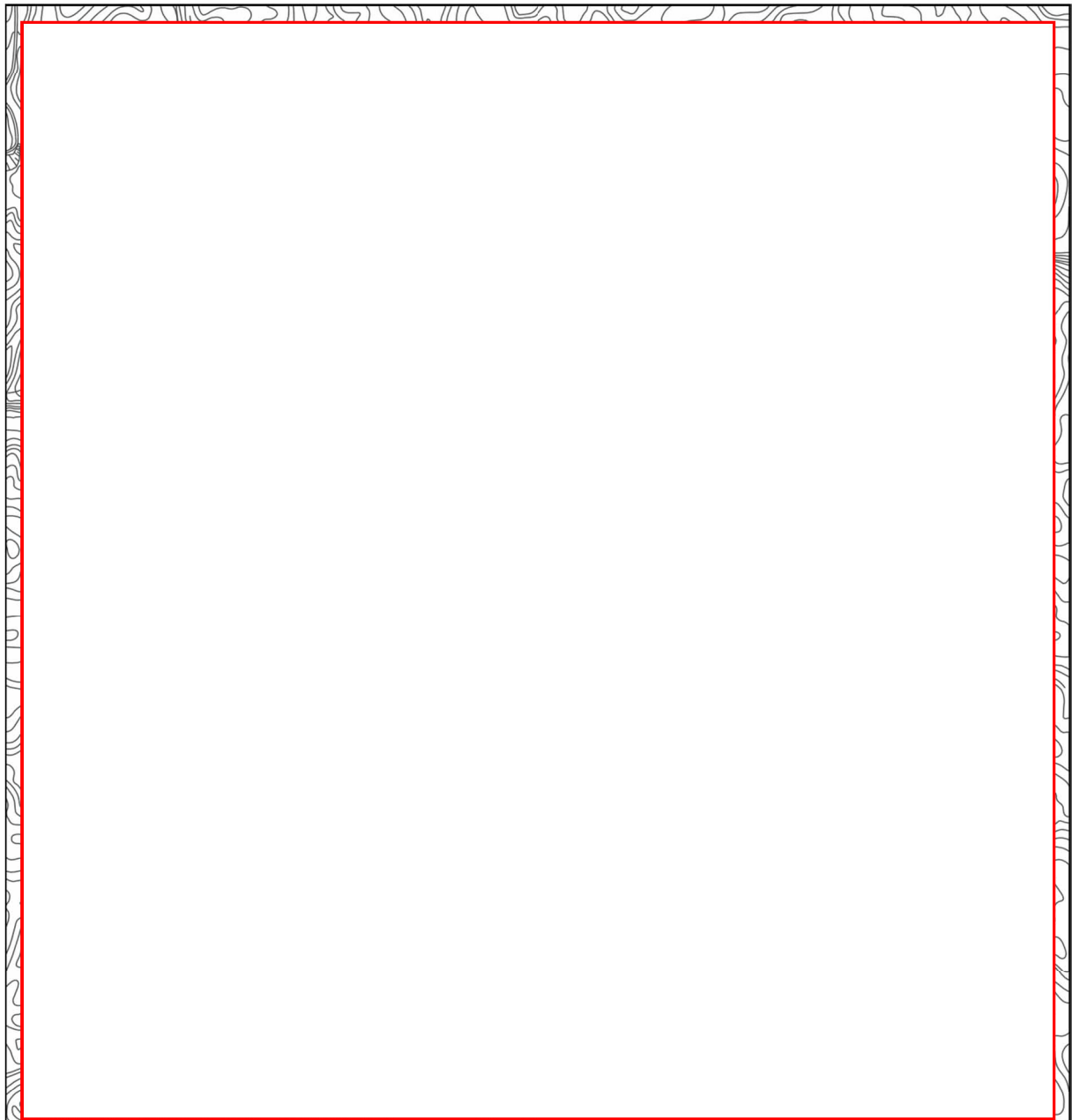
-  : 春季
-  : 夏季
-  : 秋季
-  : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-56 オキナワイシカワガエルの確認位置 (N-1 地区)



凡例

 : 事業実施範囲   
  : 調査範囲   
  : 沢

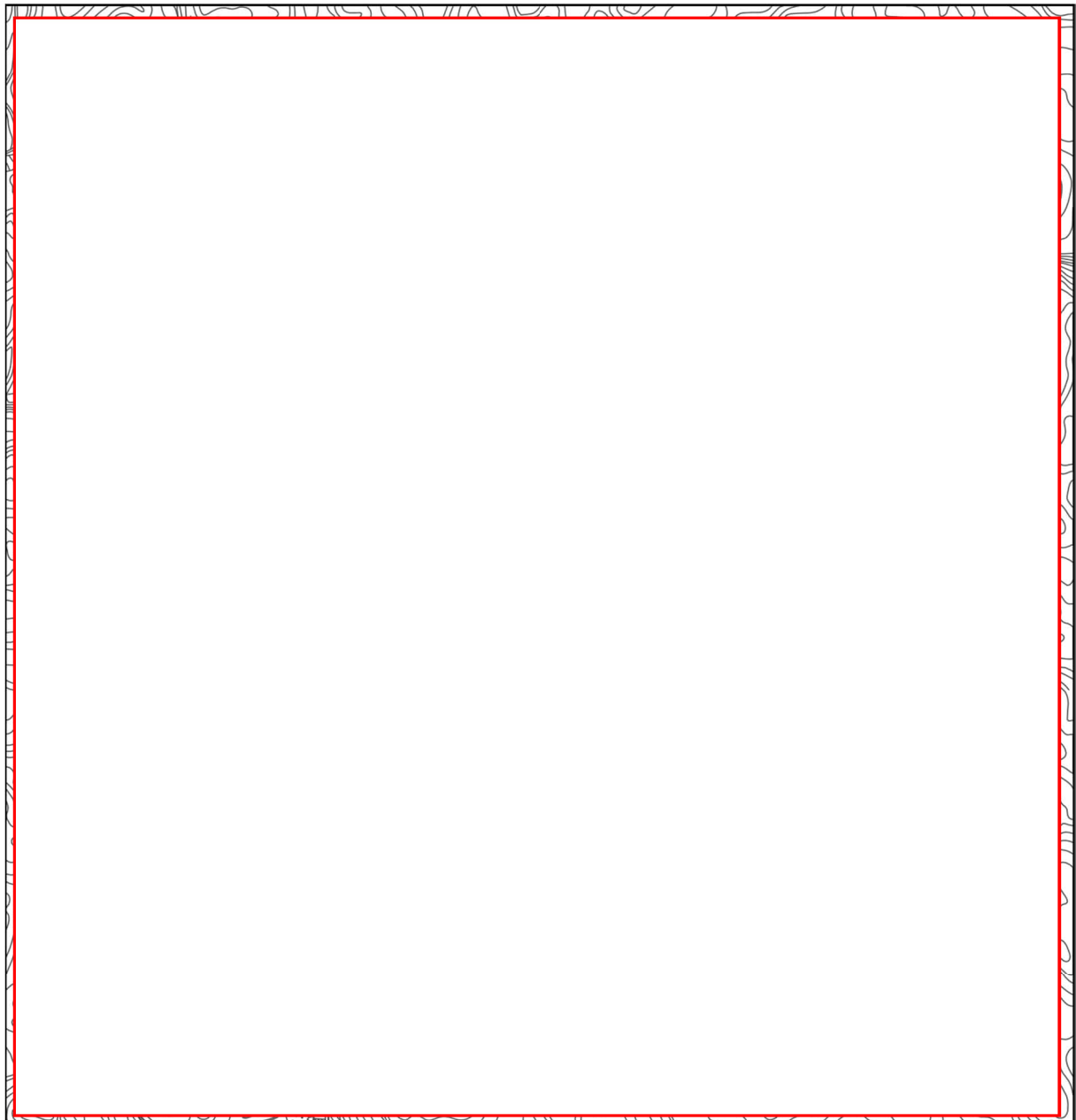
-  : 春季
-  : 夏季
-  : 秋季
-  : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-57 ハナサキガエルの確認位置(N-1 地区)



凡例

 : 事業実施範囲
  : 調査範囲
  : 沢

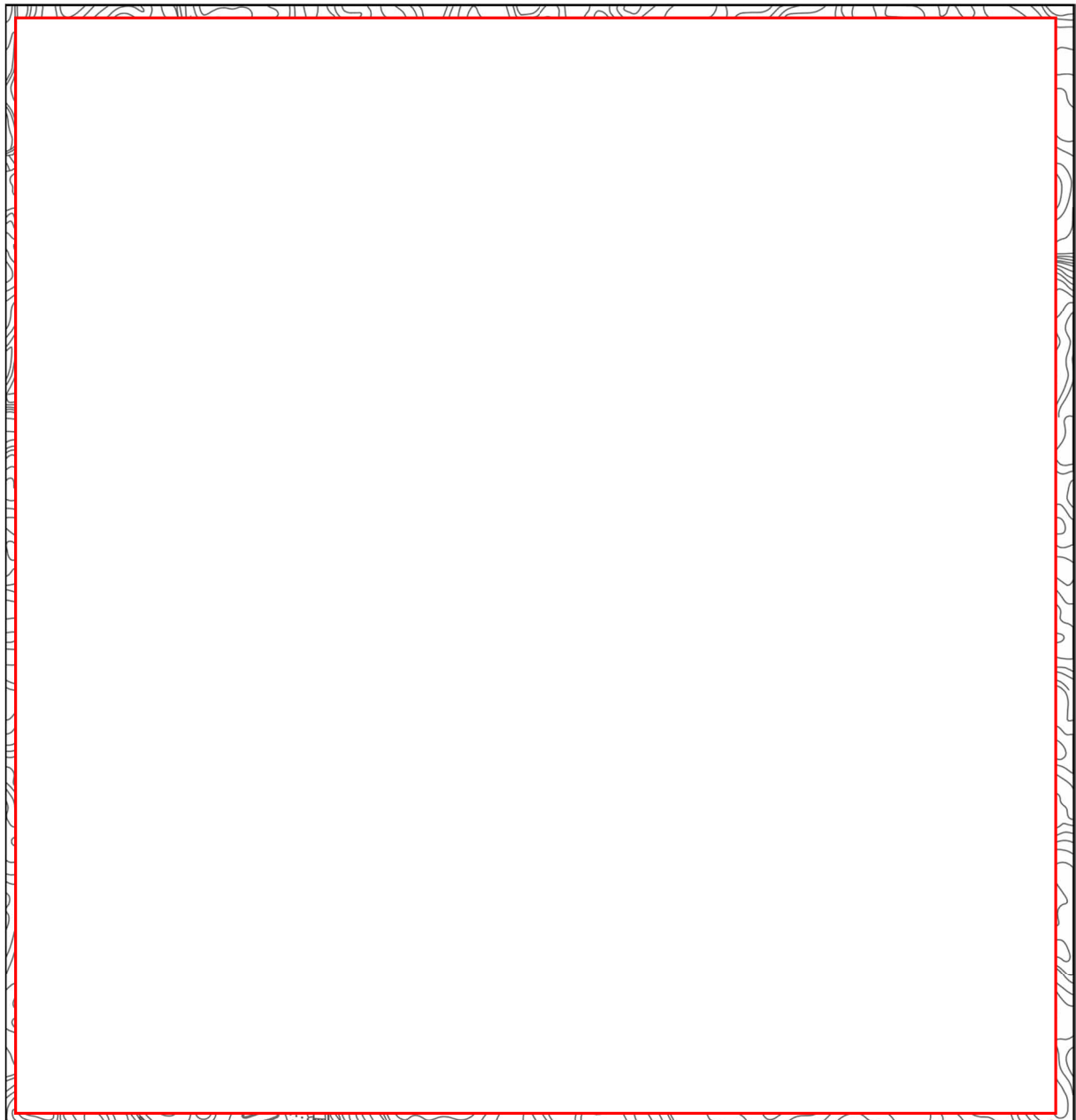
-  : 春季
-  : 夏季
-  : 秋季
-  : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-58 ホルストガエルの確認位置(N-1 地区)



凡例

 : 事業実施範囲
  : 調査範囲
  : 沢

-  : 春季
-  : 夏季
-  : 秋季
-  : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-59 ナミエガエルの確認位置(N-1 地区)



#### (d) N-4 地区

N-4 地区における山地性カエル類 4 種(オキナワイシカワガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエル)の確認状況を表 6.1.5-26 に、確認位置を図 6.1.5-60～図 6.1.5-62 に示した。

N-4 地区ではオキナワイシカワガエルの確認はなかった。

ハナサキガエルは、春季調査で  個体、夏季調査で  個体が確認された。卵塊や幼生の確認はなかったが、幼体が広範囲で確認されており、着陸帯周辺の広域で繁殖しているものと考えられた。

ホルストガエルは、春季調査で  個体、夏季調査で  個体が確認された。卵塊の確認はなかったものの、春季から秋季にかけて幼生が広範囲で確認されており、広域で繁殖しているものと考えられた。

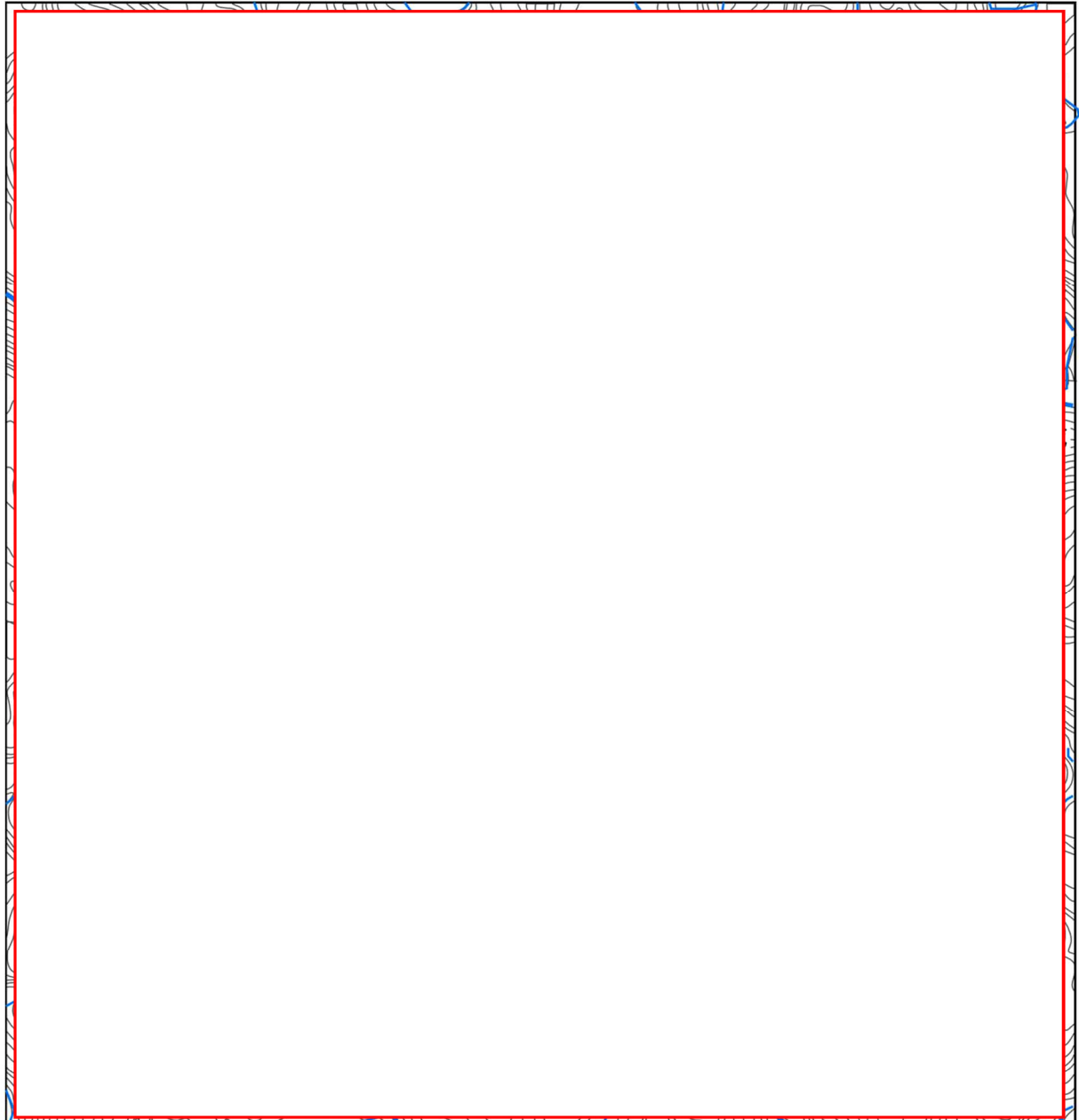
ナミエガエルは、春季調査で  個体、夏季調査で  個体が確認された。春季及び夏季調査で、着陸帯  ケ所で卵塊が確認されており、周辺の河川の広範囲で幼生や幼体が確認されていることから、広域で繁殖しているものと考えられた。

表 6.1.5-26 ハナサキガエル、ホルストガエル、ナミエガエルの確認状況一覧(N-4 地区)

種名	区分	春季	夏季	秋季	冬季
オキナワイシカワガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ハナサキガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ホルストガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				
ナミエガエル	成体				
	幼体				
	幼生				
	卵・産卵場				
	計				
	繁殖確認				
	繁殖可能性				

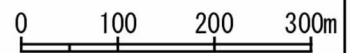
注 1) 「繁殖を確認」とは、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。

注 2) 「繁殖の可能性はある」は、繁殖確認には至らないが、2cm 前後及び比較的小型で移動性が高くないと考えられる幼体を確認した場合と定義した。



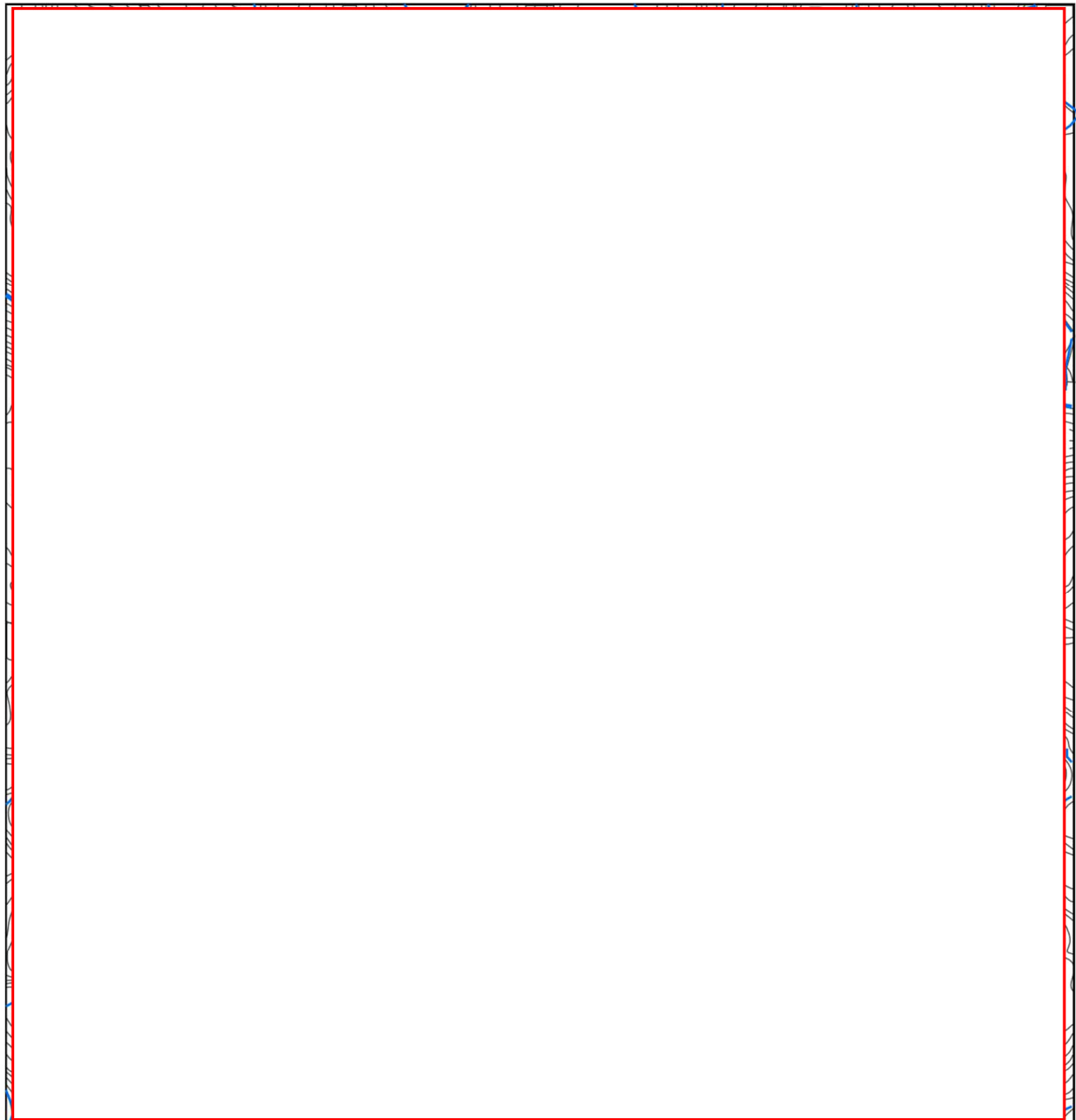
凡例

- : 事業実施区域
 
 : 調査範囲
 
 : 沢
- : 春季
- : 夏季



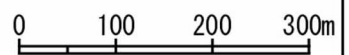
図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-60 ハナサキガエルの確認位置(N-4 地区)



凡例

- ◎ : 事業実施区域    (---) : 調査範囲    — : 沢
- : 春季
- : 夏季



図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-61 ホルストガエルの確認位置(N-4 地区)

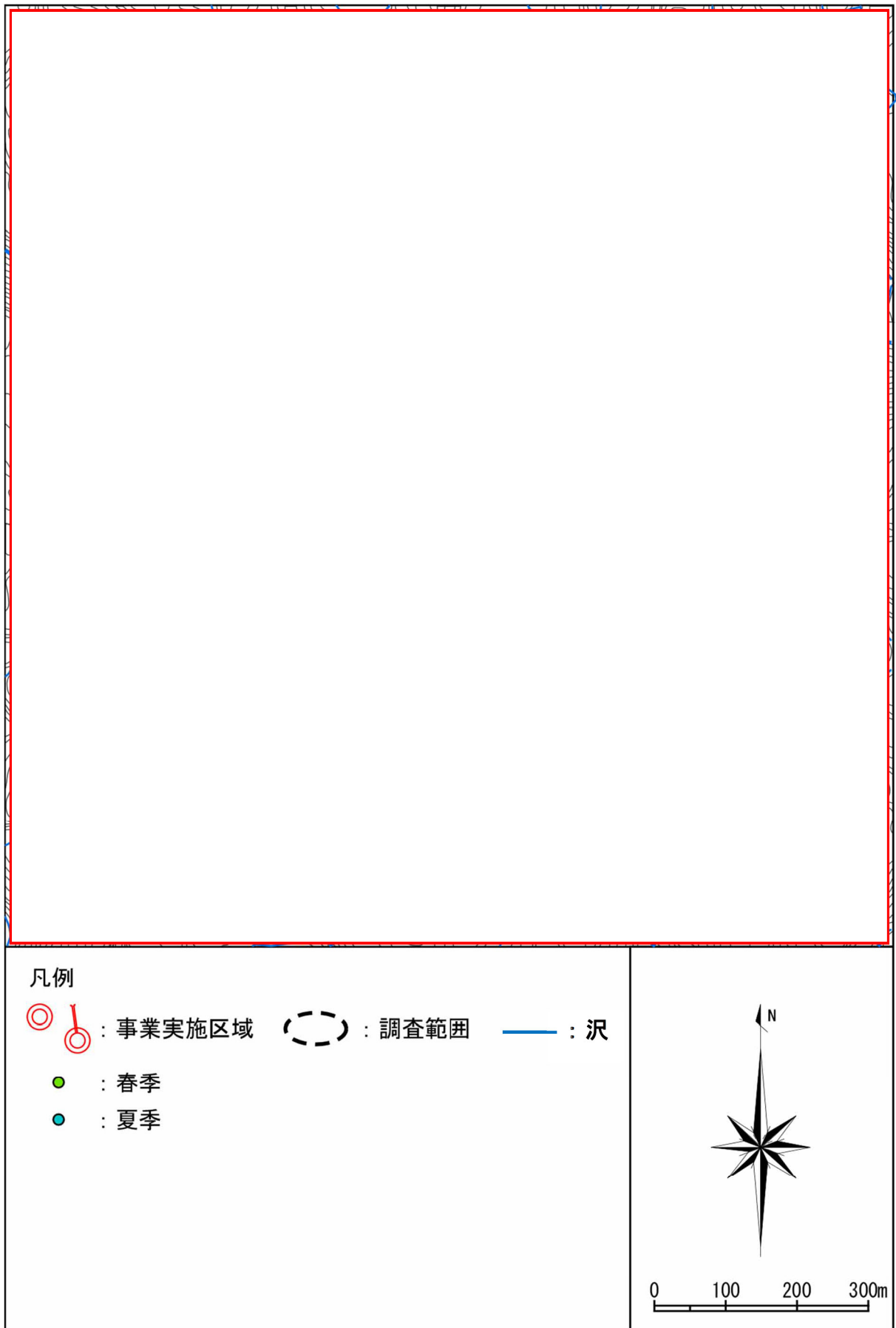


図 6.1.5-62 ナミエガエルの確認位置(N-4 地区)